

ぜんしゅうきょう 全宗協

発行：全日本宗教用具協同組合 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-16-7 第二小林ビル2階 TEL:03-6206-0413 FAX:03-6206-0414



第37回通常総会を京滋地区京都にて開催！

京滋地区のホテルオークラ京都にて、5月22日(水)令和6年度第37回通常総会が開催されました。組合員数284名に対して、本人出席60名、委任状出席134名、合計194名で出席率は68.7%にて、過半数を超え総会は有効に成立し、議事審議が行われ、すべて承認されました。総会後は退蔵院副住職の松山大耕氏より記念講演をいただきました。

池田理事長ご挨拶

総会に先立ち、本年、元日に発生した「令和6年能登半島地震」の被害に遭われた方に対しまして衷心よりお見舞いを申し上げます。昨年5月から一年間に亡くなられた組合員とご家族の方7名のご逝去と能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げたいと思います。

全宗協としても、2月に災害支援ボランティアを立ち上げ、3月25日高岡に集合し、翌日早朝に出発。寒く冷えた豪雨の中、七尾市の2カ寺へ総勢16名で向かい活動を行って参りました。

2月の理事会承認を得て、急遽皆さまに支援金を募りました。短い期間でしたが募金協力をしていただきありがとうございます。災害の多い国ですので、これからも業界に特化した支援を続けてまいりたいと考えております。



全日本宗教用具協同組合 第37回通常総会・講演会

第37回通常総会

当日は午前より三役会、各委員会、ニューリーダー部総会、理事役員会が行われ、引き続き第37回通常総会が開催されました。ご来賓として全国中小企業団体中央の根本建様、顧問税理士の望月元博様にお越しいただきました。

池田理事長が議長に任命され、議事進行が行われました。

第1号議案 令和5年度事業報告 続いて第2号議案の決算報告がされ、第3号議案 令和6年度事業計画(案)、第4号議案 令和6年度収支予算(案) 第5号議案 定款の改訂、第6号議案 役員の選挙の審議が行われ、すべて可決承認されました。

総会閉会后、第1回理事会が開催され、池田典明氏が4期目の理事長に就任しました。

総会に続き、記念講演に臨済宗妙心寺退蔵院副住職の松山大耕氏より『寺院の社会的役割と今後の展望』をテーマに、日本の名だたる企業の研修から、海外のIT企業の研修も絶えないという、松山氏の仏教の教えがなぜビジネスの世界で注目されるのか、海外からも企業研修に訪れる禅の教えを語っていただきました。

《令和6年・7年度 新理事役員》

理事長	池田 典明 (北越)	理事	升谷 昇平 (北海道・東北)	理事	小堀 賢一 (京滋)
副理事長	志保 康徳 (北海道・東北)		渡部 智幸 (北海道・東北)		橋本 晃一 (京滋)
	吉田 光宏 (京滋)		松野 智幸 (関東・甲信)		神戸 伸彰 (京滋)
	杉浦 伸司 (東海) 常任理事兼務		川本 恭央 (関東・甲信)		濱田 明彦 (阪奈兵和)
専務理事	高山 正 (中国)		前田 平八 (関東・甲信)		福井 正彦 (阪奈兵和)
常任理事	安田 元慶 (関東・甲信)		坂田 勝義 (関東・甲信)		今浦 公博 (中国)
	丸屋 輝夫 (北海道・東北)		廣川 勝彦 (北越)		横田 正登 (中国)
	西本 春男 (関東・甲信)		大河 越夫 (北越)		福井 高夫 (四国)
	本保 武右衛門 (北越)		山田 治宏 (東海)		木下 進 (四国)
	中造 真一郎 (阪奈兵和)		横井 宗浩 (東海)		上林 幸則 (四国)
	木村 謙吾 (中国)		水野 清仁 (東海)		吉川 和毅 (九州・沖縄)
	東條 隆彦 (四国)		岡林 靖之 (東海)		江頭 那将 (九州・沖縄)
	東純 一 (九州・沖縄)		井上 幸治 (東海)		中島 康憲 (九州・沖縄)
				監事	鳥居 邦夫・小森 隆司 (関東)

■ 記念講演 ■

寺院の社会的役割と今後の展望

臨済宗 妙心寺 退蔵院 副住職 松山 大耕氏



プロフィール 松山 大耕氏 (まつやま だいこう)
 1978 年京都市生まれ。東京大学大学院修了。埼玉県平林寺で3年半の修行生活を経て、2007 年より退蔵院副住職。日本文化の発信・交流が評価され 2011 年より京都市「京都観光おもてなし大使」。世界のリーダーとの交流。世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）へ出席するなど、宗教の枠を超えて活躍中

私は日本の企業のほか、最近では欧米のIT企業、また中東の国からの依頼もあり、さまざまなところでお話をさせていただく機会がございます。なぜ外国から、しかも経営を学びに寺の研修を受けにやってくるのか、それはステイブ・ジョブズの影響が大きいのです。彼は結婚式、葬儀も曹洞宗の仏式で行いました。彼の理念には「シンプル」であることを目指す。禅的な思考がありました。 아이폰の開発時に、最初はボタンが3つあったそうです。それをボタン1つでできるようにすると、操作をシンプルにしたことで大ヒットしたそうです。

禅の世界の指導は教えるのではなく、機を見て気づきを与え、飛躍的な成長を促すこと。妙心寺で企業研修をする場合、一期一会として、5つのことを伝えます。

1. 場を変える
 寺という特別な空間に身を置いて、新たな体験をする。アリババのジャック・マーさんは比叡山で幹部研修を行いました。日常と離れた場所に身を置く体験から、気づきが生まれます。

2. 長く続ける秘訣
 私は2018年からスタンフォード大学の客員教授としてシリコンバレーに招かれ、マインドフルネス(禅)の講演をして

います。IT業界は変化のスピードが速くエキサイティング、光が当たる部分が大きく輝きを増すと、影が暗く射す。つまり「不安」と隣り合わせ。ベンチャー企業は寿命が長くても30年といわれますが、それがどんどん短くなつて7年とまで言われています。人生の一時期を猛スピードで駆け抜ける必要があっても、それが長く続くと疲弊します。妙心寺は650年続いています。スタートアップ企業からすると、お寺は老舗企業といったところ。そこに学びがあると考えるようです。

3. 感性を磨く
 企業は今、お店を作ろうとするとマーケティングをし、例えば「どんなラーメン」

◆正常化委員会

チラシ等の不当表示に対する実例の蓄積、対応の検討などを行った。仏壇公正取引協議会と連携し「その他の仏壇」について名称を含めた規約の改定を協議した。



正常化委員会

◆会員増強委員会

平成29年度期初350社より、令和4年度末まで累計59社の退会。全宗協のメリットは？

- ・総会、会議、研修会を通じ、業界内外の情報を入手でき、お互いに共有できる
- ・研修会だけでなく、それぞれの地区の研修会での情報交換
- ・供養産業としての活動（PRAY for ONEなど）による情報収集
- ・共同事業としての「祈の日のポスター」や「祈の日のイベント」開催などを通じて日本の伝統、文化をアピールできる



会員増強委員会

◆広域認定準備特別委員会

全国9地区からの参加を得て、「仏壇資源リサイクルによる広域認定」の取得に向け、10名の委員を選任し、初会合が行なわれた。



NL部総会

◆ニューリーダー部

- ① 第16回NL部総会（5月23日徳島）
- ② 令和5年度NL部 研修会（5月24日 開催地：徳島）
 - ・仏壇製造工場見学＊セミナー／工場見学／ショールーム見学 ・藍染見学体験会
 - NL秋の研修会（11月21日、22日 開催地：京都）
 - ・知恩院様 参拝見学／清水寺様 参拝見学／若林佛具製作所様ご講演・店舗見学
- ③ 役員会（Zoom 併用）
 - ・第1回 部役員会（5月23日徳島）
 - ・第2回 部役員会（7月19日富山）
 - ・第3回 部役員会（9月12日愛知）
 - ・第4回 部役員会（2月21日東京）
 - ・第5回 部役員会（4月10日東京）

ほか、会報に寄稿など



広域認定準備特別委員会



NL部では2期務めた山本裕基部長(左)に代わり、6年度から橋本卓尚新部長(右)が就任した

にするかを考え、無難な『まずくないラーメン』が出来上がります。「俺が美味い！」と思える独自のものを出せるか。食品系企業研修で座禅研修後に「何が一番印象的でしたか？」と尋ねると、「ご飯がおいしかった」と答えます。日頃テレビを見たり、話しながら食べる。禅道場では板の間に背中を伸ばして座り、一言も話さず、一汁一菜に集中して食べる。実際に痛みを伴う体験をすると、五感が拓かれて、ご飯がおいしいと感じるのです。

4. 「やりがい」を学ぶ

スイスの企業研修ではウエルビーイング、キャリアに対する「やりがい」をどう得られるか。を伝えました。ソクラテスのころの「よりよく生きる」という概念が欠けてきている。日本でも以前より、働きやすい環境に変化しているのに、働き甲斐を感じられないと、閉塞感を持っているのが現状です。

5. サバイバル力を身につける

先日アメリカの青年が来た時、なぜ京都に来たのかと聞くと、西田幾太郎と出会い、東洋の考え方に興味を持ったから。デカルトは『我思う故に我あり』といったが、西田は『我思う故に我なし』と考えた。その京都学派の哲学に興味を持ったからだと答えました。

禅問答で「箆と鍋、どちらで水をくむか」という問いがある。その答えは、道具はどちらでも構わない。道具は構わないから『すぐ動け！』それが人の心をつかむ秘訣。禅の修行では不合理な課題を出される。ここで「やったことがないか

ら、できません」と言うか、「わからないけど、何とかやってみる」なのか、禅では『働き』といい、行動することが大事なことです。

最後に、人生には「生・老・病・死」に「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」を加えた、四苦八苦があるといわれています。「苦」とは『思い通りにならないこと』を指します。社会的には前より働き易くなっているはずなのに、すべてが数値評価で比較対照されて『人の評価を気にする社会』は、SNSが始まってから余計に「しんどい、皆いいなあ……」と四苦八苦しながら今を生きています。

これからの社会、お弔いだけでは寺院は成り立たない。生きる不安にどう仏教を役立てられるか、被災地支援などのケアをする人の不安をどう取り除いてあげられるか、ケアする人をケアするのが宗教の役割と考えております。

質問1…我々が今後、良い習慣作りに対し、どんなお手伝いできるでしょうか。

松山氏…仏壇仏具の技術力は世界的にも素晴らしい。修復など、その技術を世界に伝えてほしいし、求められるところと考えます。推し活のように世界一の技術を届けるなど求められると思います。

質問2…自社の社員の働く意識を上げるにはどうしたらよいでしょう。

松山氏…自分の仕事が社会にどう喜ばれ、使われているか実感を持たせてあげる。自分が社会に必要とされる仕事をしているとわかると意識が高まります。

令和5年度 各委員会事業報告

◆総務委員会

- ① マルチスライド『全宗協物語』完成披露。
(総会会場にて試写を行い、後日完成版を全宗協ホームページ上にて公開)
- ② 会報の発行
令和5年5月に徳島で行われた第36回通常総会の報告と、10月にTKP京都四条駅前カンファレンスセンターにて開催された研修会の報告を、会報『ぜんしゅうきょう』にまとめ、年2回発行した。
- ③ 仏事コーディネーター試験・報告概要
試験日 令和5年11月15日(水) (次回令和6年11月13日(木)予定)
受験者数 東京38名、大阪31名計69名 (合格者66名 合格率95.6%)

◆広報委員会

PRAY for (ONE) の普及活動と、全宗協のシンボルブランドでもある「INORI JAPAN」, 「祈り=全宗協」の周知に努めた。さらに全宗協のホームページが検索上位に位置するよう、生活者からの問い合わせをQ&Aとしてコラム風に紹介し、各地のお仏壇の納品実例写真を掲載するなど、アクセス数、ページビューの滞在時間を延ばす工夫をした。また、前年度に変更したイメージモデルの周知に努めた。

他に、特別予算を活用し「供養と仏壇に対する実態調査」を令和6年1月に行った。対象は30代以上の男女とし、1,000件を超える有効回答数となった。そのアンケート内容を精査、取りまとめた報告書を、令和6年度4月8日に報道各社に向けてプレスリリースを行った。

令和5年6月21日(火)、22日(水)の2日間で開催された『フューナラルビジネスフェア2023』(来場者数11,815人)と、8月29日(火)～31日(木)の3日間開催の『エンディング産業展2023』(来場者数12,019人)にPRAY for (ONE)としてブース出展し、PR活動を展開した。

令和6年3月27日(水)、『祈りの日』は「鶴を折ること=小さな祈り」として全世界に発信すべくWEB上のイベントを開催し、組合員からも“祈り鶴の画像”に#ハッシュタグ付きの祈り鶴投稿での参加をいただいた。PRAY for (ONE)から発行の、季刊誌『祈りを紡ぐ』を活用し『祈りの文化』を広く普及する相乗効果を図る。

◆事業委員会

●全国研修会開催

令和5年10月5日(木)、6日(金)の2日間、TKP京都四条駅前カンファレンスセンターで全国研修会を開催した。この事業は全国中小企業団体中央会の補助を受けての開催となり、研修会テーマは、「私たちは業界の『よき祖先』になれるか～変容する市場の商機を探る～」。

講演、鼎談、グループワークを行った。研修の参加者は42名。本研修会を通じて、未来を見据えて今を考える長期修行を学ぶことができ、新たな視点を開く一助になったものと考えられる。受講者からも好評を得、有意義な研修会であった。



事業委員会



広報委員会

京都総会 懇親会

懇親会会場では、講師をお勤めいただいた松山大耕様にもご臨席いただき、京都の粋がふんだんに盛り込まれたコース料理を堪能しました。中盤にはアルトサクソとエレキギターの生演奏が行われ、会場が大いに盛り上がりました。その後恒例の、『鍵』の伝達が行われました。今開催地は京滋地区協議会を代表し吉田光宏氏から池田理事長へ、そして、次年度開催地となる関東甲信地区の西春貞男地区協議会長へ引継ぎが行われました。京の夜は和やかでパンチの効いた宴となりました。



迫力満点の演奏は
サクソ清水利香さん
ギター渡邊仁さん



京滋地区の皆様から、関東甲信地区の皆様へ「鍵」の引き渡し

エクスカージョン

宇治の魅力堪能

幹事：(株)みす武
大久保 武右衛門氏

朝一番にバスで宇治へ向かい、世界遺産の平等院鳳凰堂を拝観。さわらびの道を通り世界文化遺産の宇治上神社を参拝。次に源氏物語ミュージアムを見学。日本三禅宗のひとつ黄檗山萬福寺にて、普茶料理を味わいました。その後、境内を案内していただき、明の時代を感じる伽藍建築や異国情緒あふれる十八羅漢像、江戸時代初期に伝来した中国福建省の様式に接しました。



黄檗山萬福寺にて
普茶料理を愉しむ



平等院鳳凰殿を臨む

親睦

ゴルフコンペ

幹事：(株)若林佛具製作所
若林智幸氏

優賞：吉田光宏様 (株)吉田治市商店
準優勝：今浦公博様 (有)今浦佛具店
BB賞：河田栄治様 (株)浄華

65年の歴史を持つ琵琶湖カントリー倶楽部で開催
少数精鋭(?)のメンバーで楽しくプレー出来ました



事務局 からの お知らせ

最新版 好評発売中!!

『仏壇仏事ガイドンス ver6.0』

全宗協組員価格 13,200円(税込) 一般価格 16,500円(税込)ともに入金確認後送料着払いで発送
振込口座：みずほ銀行 銀座通支店(普通) 2088398 口座名：全日本宗教用具協同組合

仏壇販売の現場で役立つ
・業界標準テキスト



1. 当面のスケジュール

令和6年10月9日(水)～10日(木)全国研修会(京都)

2. 組員数 285名(令和6年6月30日現在)

令和6年度新加入

(株)翠雲堂(千葉県) 代表取締役 山口 豊様

(株)永楽屋(岐阜県) 代表取締役 宮川 卓也様

3. 組員関係者の訃報(令和5年12月20日～令和6年6月30日)

【北越地区】

(株)山口久乗 代表取締役会長 山口 敏雄様 ご母堂 山口よし子様
(令和6年6月27日 享年105歳)

【阪奈兵和地区】

泉屋(株) 代表取締役 泉 浩一様 ご尊父 泉 修一様
(令和5年12月31日 享年88歳)

【四国地区】

(株)岩佐佛喜堂 代表取締役社長 岩佐 武彦様 ご母堂 岩佐久美子様
(令和6年5月24日 享年94歳)